



大口勇さんから栽培について話しを聞く参加者



クロルピクリン錠剤使用後の状況を視察する様子

キヌサヤエンドウの 連作障害解消に向けて!

8月1日、桂岡地区（4月28日にクロルピクリン錠剤の使用）において、キヌサヤエンドウ生産者の栽培技術向上を目的とする「青空教室」が行われました。

今回は、4年連作となるほ場での収量の状況や錠剤効果の視察を中心に実施。「限られた農地の中でいかに町の特産品であるキヌサヤエンドウの収量を伸ばしていくかを考えてもらう良いきっかけになった」と、サヤエンドウ生産組合の組合長を務める大口勇さん（字桂岡）は、クロルピクリン錠剤への期待を

寄せていました。

また、参加者は「錠剤を使用したところの生育は4年連作とは思えないほど」と驚いた様子でした。

連作を解消する手法として、今回実施した青空教室では「クロルピクリン錠剤」を紹介しましたが、毎年、町内のほ場において「青空教室」を開催していきます。

栽培技術の向上を目指す勉強会となつていきますので、ご興味のある方は、お気軽に参加ください。



楽しい催しが盛りだくさん!

新鮮な野菜や 魚介類が集う文月祭開催

7月20日、上ノ国町物産センター連絡協議会（佐藤真治会長）主催による『文月祭』が道の駅もんじゅ前にて行われ、多数の来場者で賑わいました。

今年で5回目となる祭典では、恒例の特産品販売などに加え、「記憶に残るイベント」をコンセプトとして、ゲーム形式の体験型コーナーが目立ちました。

なかでも1000円の新ジャガの詰放題や、にら掴み取りなどが人気だったほか、縁日コーナーとして、トマト&サクランボすくいや、かたこもち神経衰弱、このほか、文月祭に合わせて、大規模なフリーマーケットも同時開催されるなど、個性的な催しが盛りだくさんのイベントとなりました。

高齢者等見守り活 動協定が締結

8月4日、本町と江差信用金庫（藤谷直久理事長）との間で、高齢者等の地域見守り活動協定が結ばれました。

本町では、昨年10月にも生活協同組合コープさっぽろとの間で、地域見守り活動に関する協定を結んでいます。これらの協定は、高齢者世帯等の方々を、地域で活動する企業にも協力して見守ってもらうことを目的としています。

この協定により、江差信金が業務中に地域の異常を発見した際には、速やかに町に通報し、迅速な対応が可能となります。



協定を交わす工藤町長と藤谷理事長